



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 20
平成 28年 1月 8日



新年おめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願いたします。

平成28年が幕を開けました。今年は申年。「申」年は変革の年とされ、何かしらの時代が動くとされているそうです。「申」の字には伸びるという意味もあり、今まで培ってきたものが「形になる」「頑張りが形になって評価される」年とのこと。子どもたちには、「自分の中のよいものを、努力して磨きなさい。鉄は熱いうちに打て」というように、若い今が自分のよさを伸ばせるとき。夢をもち、目標をもってそれぞれに頑張るように…」という話をしました。

児童代表であいさつした3年生の清水萌花さんは原稿を見ないで、しっかり自分の目標が言えました。同じく久保田匠さんは、右下にあるような自作の楽しい詩を、堂々と発表してくれました。5年生は孟浩然（もうこうねん）の「春暁（しゅんぎょう）」を全員で暗唱しました。その後、それぞれにこの3学期に頑張りたいことや、自分の夢を自信をもって発表してくれました。「夢はダンサーになってユニットを組むこと。そのために仲間たちと仲良く努力したい（彩夏）・夢はオペラ歌手になること（千世）・夢は世界一の科学者になること。そのために勉強をたくさん頑張る（宏明）・夢はパティシエになること。そのために計算を速くできるようになりたい（葉月）・夢は有名なパティシエになること。自分のお店をもちたい（乃愛）」といった具体的に素敵な夢も語られました。そればかりではなく「下大野小学校を支えられるように頑張ります（歩夢）」といった、次の下大野小学校の最高学年となることを意識した決意表明も語られました。紙面の関係で全部紹介することができませんが、前向きで真摯に自分の目標を語る姿に、感動しました。

さて、余談ですが、申年生まれの超有名人は「豊臣秀吉（あだ名がさる）」とのこと、今年中に12歳になる5・6年生も申年です。火の性格と光り輝く金の性質をもち、太陽のような存在。個性的なセンスをもつ人が多いとか。そして、申年には、赤い色の下着を贈ると、いただいた方は、「幸運に恵まれる」「健康でいられる」「下の世話をしてもらわなくともよい」のだとか。今年も、よい年であることを心より祈りたいと思います。

3学期のもくひょう

3年 清水 萌花

わたしの3がっきのもくひょうは、三つあります。そのなかでの一番のもくひょうは、学力しんだんテストです。学力しんだんテストの練習は〇点ぐらいだったので、本番では、◎点ぐらいの点数をとりたいです。

二つ目の、まごころの発表会です。まごころの発表では、わたしはきなこを調べています。きなこには、いろいろなすごさなどがあることが分かり、きなこのすごさをもっと知りたくなりました。

三つめは、なわとび大会です。なわとび大会では、わたしたちは、にじゅうとびをします。にじゅうとびは合計で、30回ぐらいなので、本番では、50回ぐらいとべるようにがんばりたいです。

この3学期のもくひょうをめあてに、3学期もがんばっていきたいです。

楽しい冬

3年 久保田 匠

春夏秋冬

冬は楽しみ

クリスマス

おいしいケーキを食べながら

サンタが来るまで

まちましよう

春夏秋冬

冬は楽しみ

お正月

たこあげ 羽打ち コマ回し

みんなで なかよく 遊ばましよう



下大野の子どもたちの活躍



紹介が遅れてしまいました。ごめんなさい。

- ・第27回茨城県ジュニア選手権大会（新体操）3・4年ロープの部、クラブの部 第1位 4年高橋 梨乃
- ・2015全国つくば洋舞コンクール（バレエ）クラシックジュニア1部門 第5位 6年 高橋 茉那
- ・第54回水戸市体育祭市民競技大会空手道大会 幼児・小1男子組み手の部 準優勝 1年 大和田 陽翔